

Ⅱ-2 いやいや期をどうのりこえる？（2歳児）

ワーク1

- 最近のお子さんの特徴（うれしかったことや困ったこと）を思い出し、気楽に出し合いましょう。

ワーク2

- 困ったことの中から一つ選んで、①子どもの気持ちはどうだったのか、②自分の気持ちはどうだったのか、③どう関わればよかったのか、話し合しましょう。

An illustration of a young child with a distressed expression, crying with their mouth wide open and eyes squeezed shut. The child is wearing a yellow t-shirt and blue shorts. Three red lines radiate from the top of their head, indicating intense emotion or pain. The child is positioned in the upper right corner of the large rectangular workspace.

資料

子どもの自己主張は成長の証

2歳頃になると、自分の体を思うように動かすことができるようになり、行動範囲も広がっていきます。自分のことは自分でしよう、自分の意思を言葉で表そうとする意欲が高まってきて、自我が育ってきます。その過程で、「自分で」、「いや」と強く自己主張をすることが出てきます。これは、立派な成長の証です。

大人は、こうした子どもの自我の育ちを受け止め、自分のことを自分でできるように、受け入れられない時でも気持ちを立て直していけるように、見守り支えていくことが大切です。

(厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館、2008年)

ワーク3

- いやいや期をのりこえるために、自分にできそうなことを出し合いましょう。

ふりかえり

- 感想を話し合いましょう。